

取扱説明書



アルパイン パワードサブウーハー SWE-1700AV

車 種	年 式	型 式
アルファード / ヴェルファイア	H20/5 ～現在	ANH20W・25W GGH20W・25W

平成21年12月現在のものです。12月以降の車両は変更されている場合があります。

【標準装着時間：2.0H】

1 目次

1.	目次	1
2.	必要工具	1
3.	構成部品	2
4.	取付概要	2
5.	接続図	3
6.	取り付けにあたっての注意事項	4
7.	取付要領	5
	車両部品の取り外し	5
	スピーカーボックスの取り付け	7
	電源用延長ケーブルの配線	10
	（参考）リモコンの取り付け	12
	アンプの設置	12
	ナビゲーション/オーディオ本体の取り付け	13
8.	動作確認/車両部品の復元	14
9.	調整方法	14

2 必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、8・10・12・14mm レンチ、カッターナイフ、セロテープ、マスキングテープ、ビニールテープ、保護メガネ、保護手袋（軍手）など、電工ペンチ、ドリル、ドリルストッパー

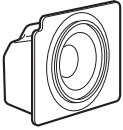
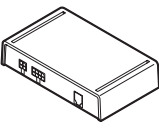
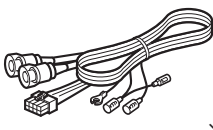
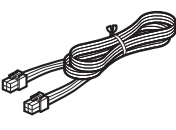
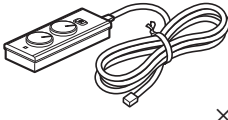
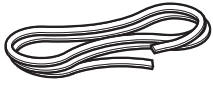
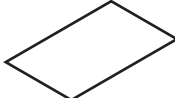
3

構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

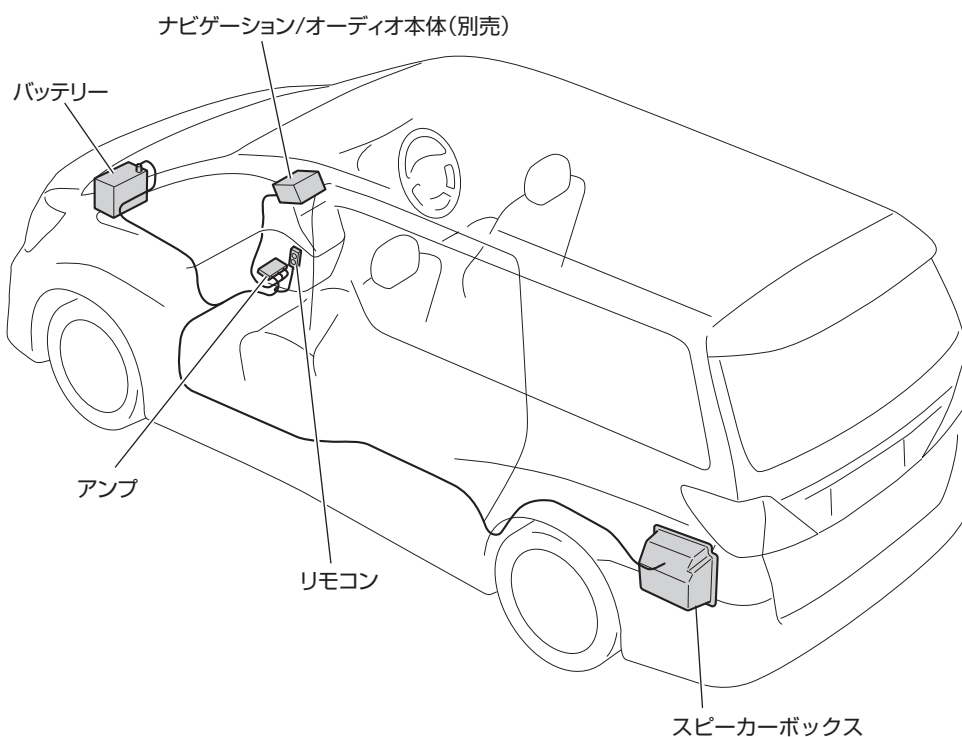
■パワードサブウーハーキット

部の部品は使用しません。

スピーカーボックス	カバー	アンプ	電源コード	4Pスピーカーケーブル
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
リモコン	蝶ナット	タッピングネジ (M4×30)	電源用延長ケーブル	スピーカーRCA変換ケーブル (L・R)
 ×1	 ×1	 ×2	 ×1	 各×1
クッション (グリルカバー用)	クッション (パッフル用)	型紙	取扱説明書	保証書
 107cm ×1	 94cm ×1	 ×1	 ×1	 ×1

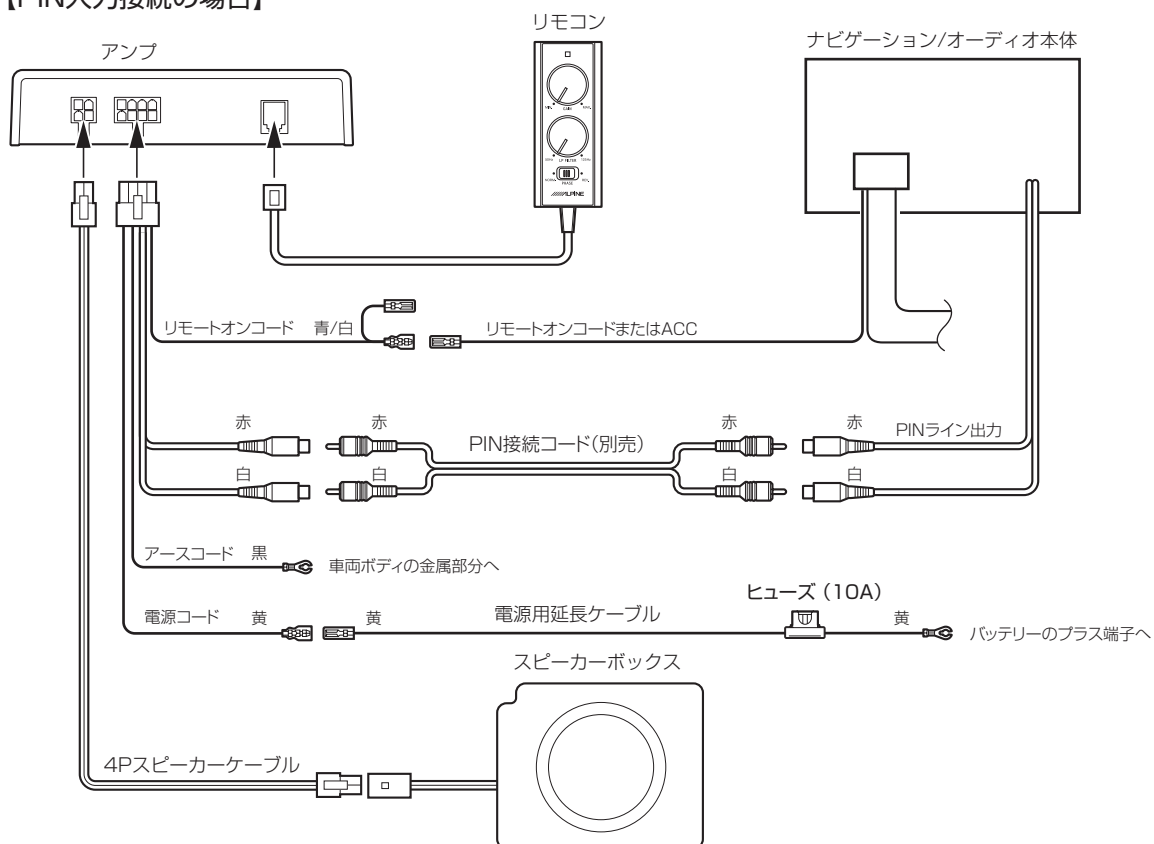
4

取付概要

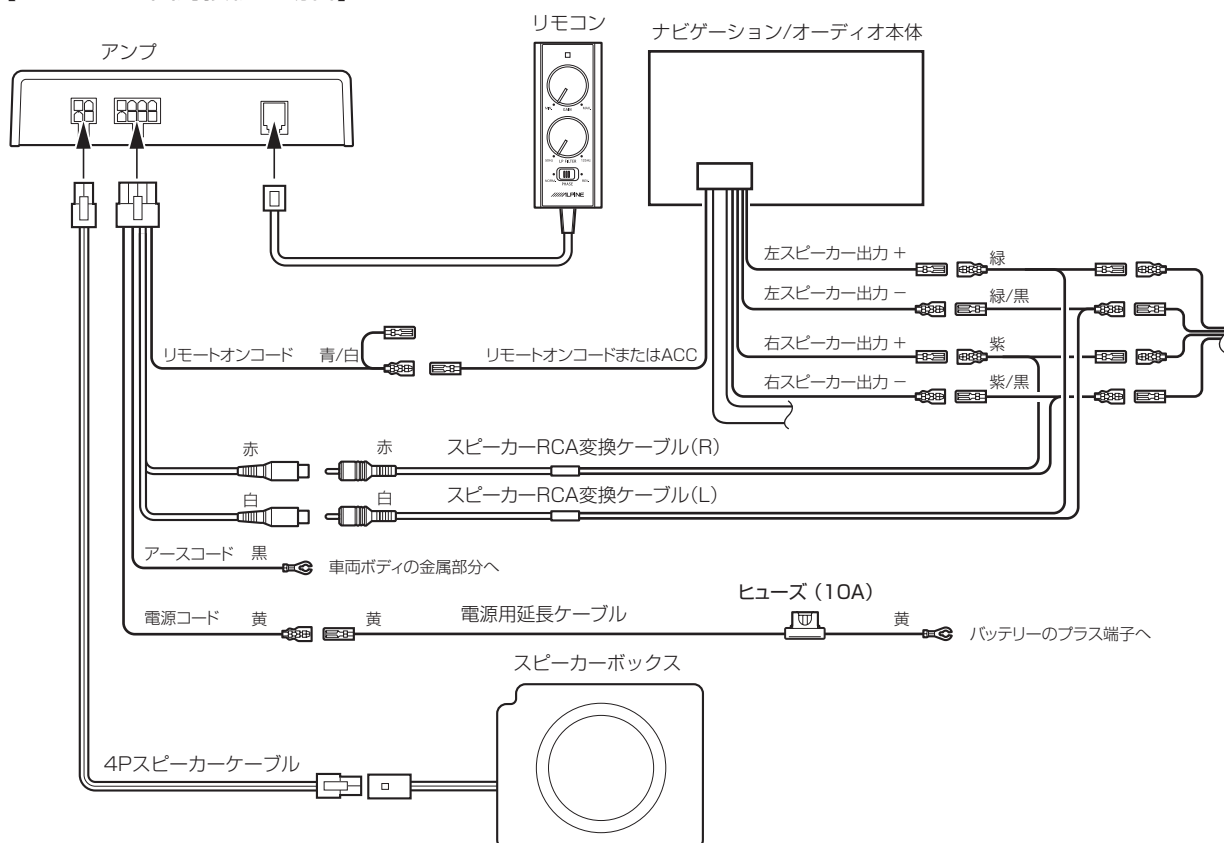


■基本接続図

【PIN入力接続の場合】



【スピーカー出力接続の場合】



安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店で取り付けを行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



強制 禁止

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被膜を切って、他の機器の電源を取らないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



強制 禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制御不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切削粉や破片が入らないように保護してください。ケガの原因になります。



運転中は操作をしないでください。事故・ケガの原因になります。操作する場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・故障の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起物に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外に使わないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

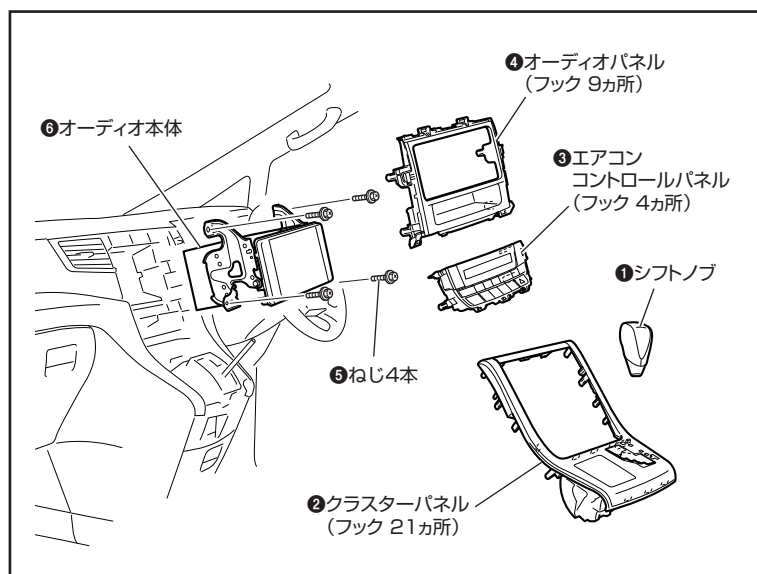
電動ドライバーの使用を禁止します。

電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。



禁止

⚠ 注意 バッテリーのマイナス端子を外す前にリアゲートを開けてください。 ※電磁ロックがかかり開けられなくなります。



■車両部品の取り外し

【インパネ周り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

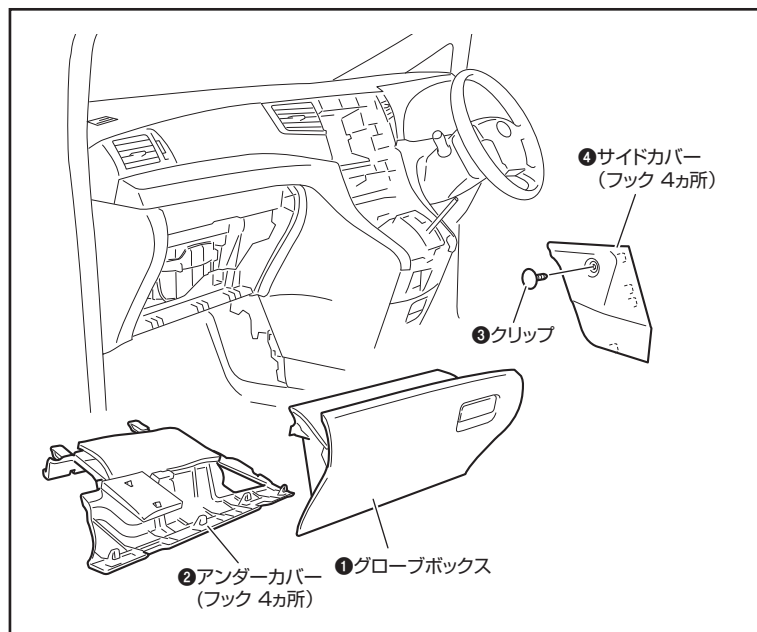


注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- ねじの紛失にご注意ください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



【グローブボックス周り】

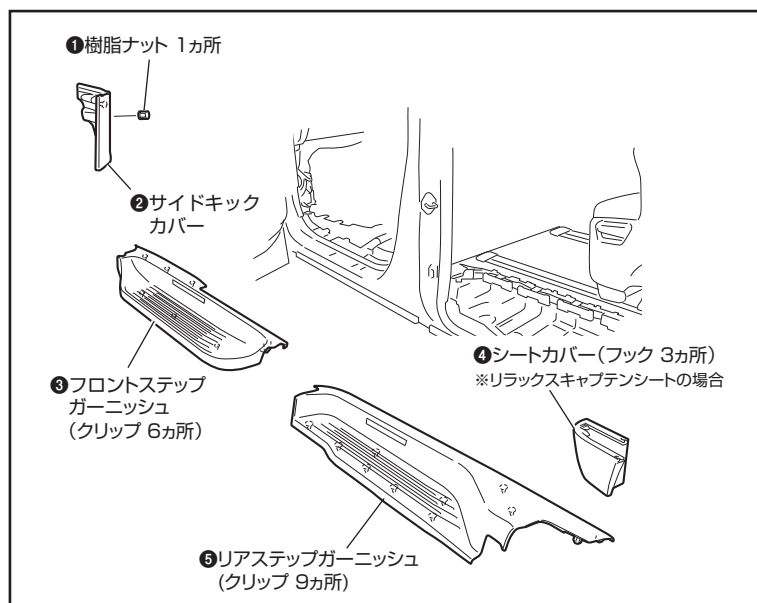
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



注意 キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



【車両サイド周り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

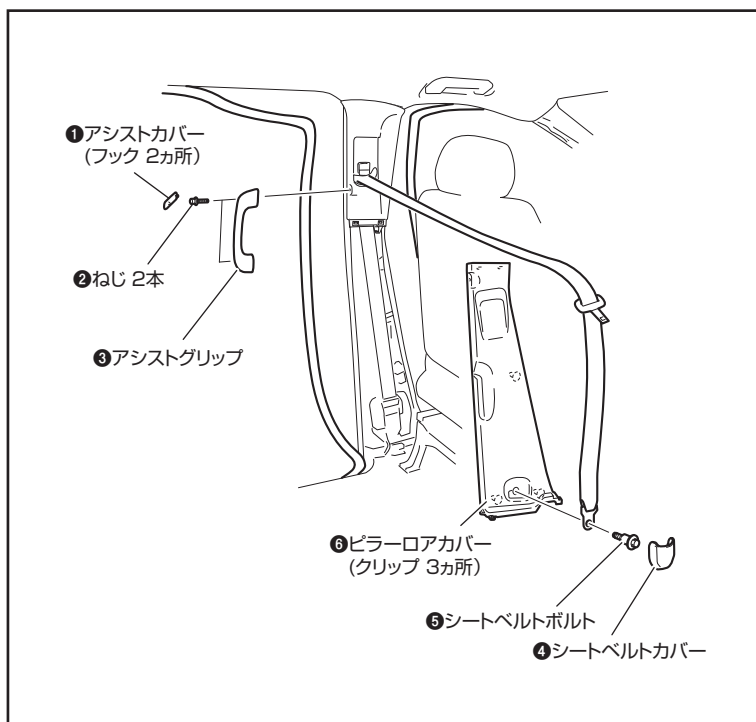


注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- ナットの紛失にご注意ください。
- エアバッグ装着車の場合は、衝撃などに注意して内装部品を外してください。

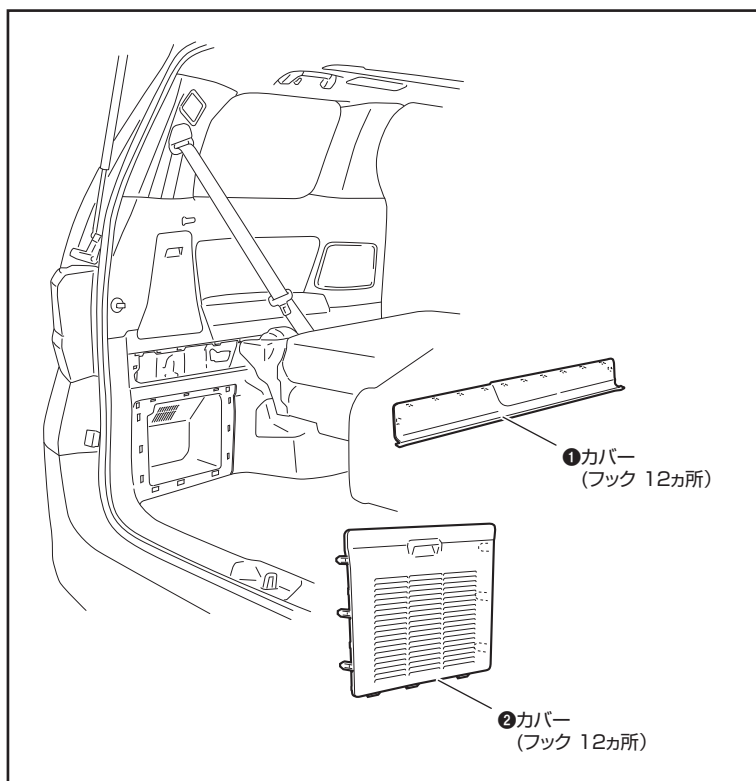


Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



 注意	●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。 ●ナットの紛失にご注意ください。 ●エアバッグ装着車の場合は、衝撃などに注意して内装部品を外してください。
---	--

 Memo	各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。
---	------------------------------

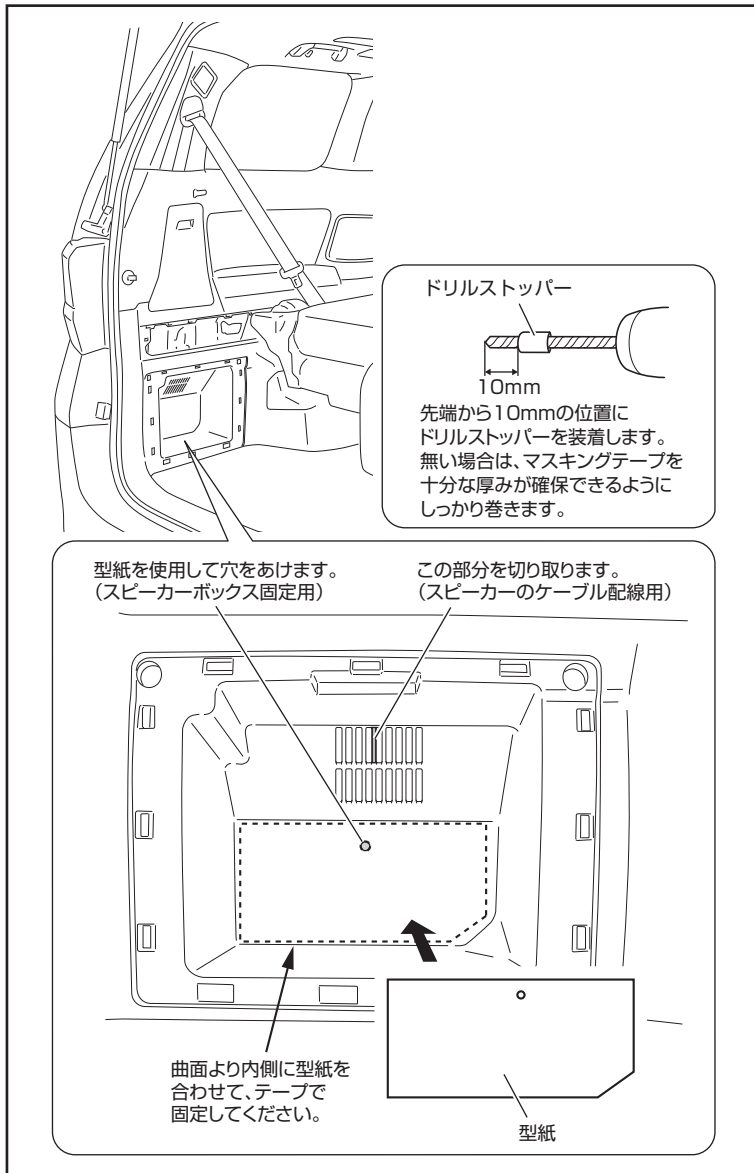


【リアトリム周り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

 注意	●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。 ●ねじの紛失にご注意ください。
---	---

 Memo	各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。
---	------------------------------



■スピーカーボックスの取り付け

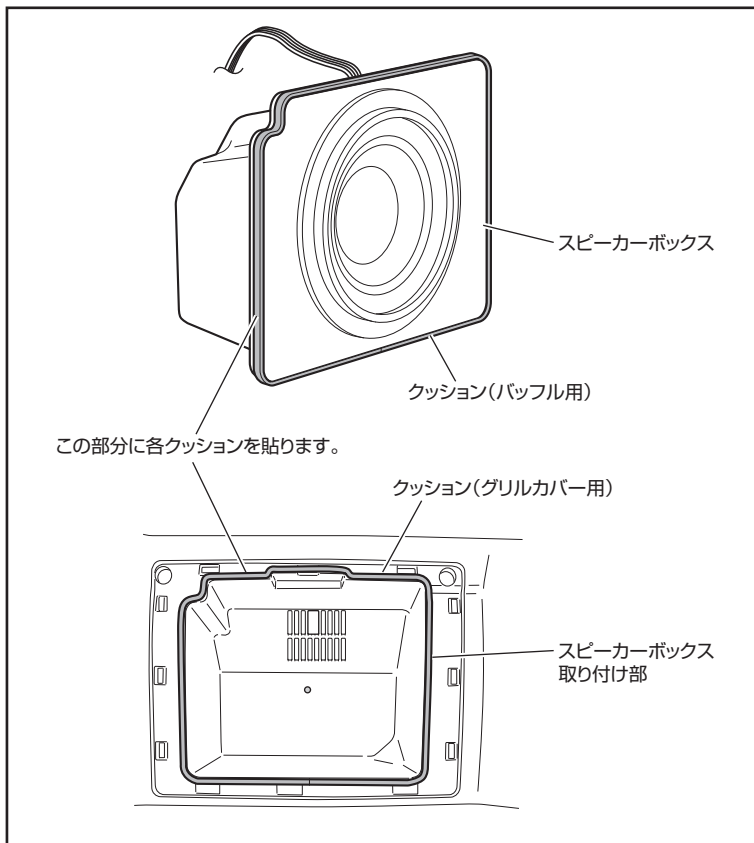
【サイドパネルの穴あけ加工】

1. 型紙を使用して、サイドパネルの側面に穴あけ加工をします。

⚠ 注意

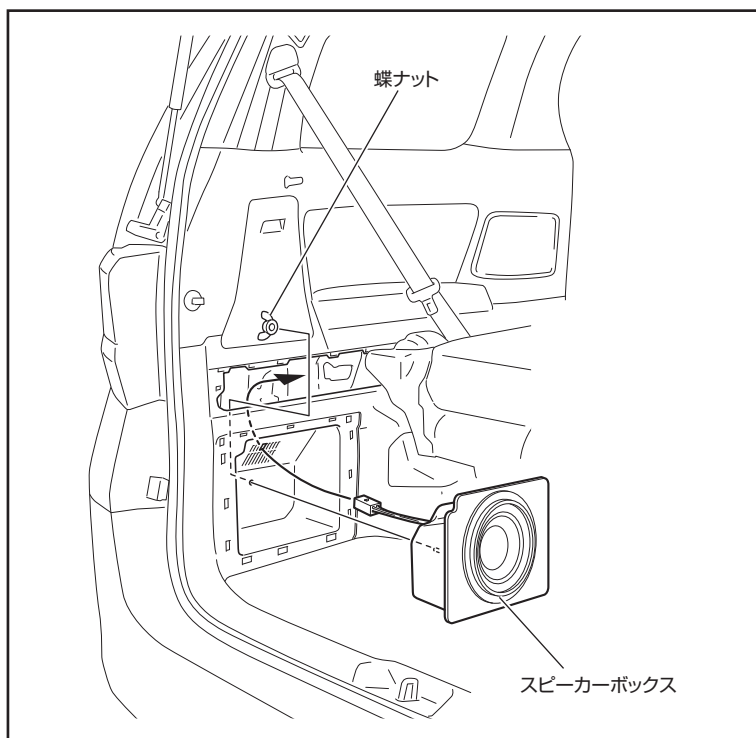
- ケガ防止のため保護メガネ・保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- 電動ドリルの刃が、ドリルストッパーをつけた位置よりも奥に入らないように注意してください。奥に入ると車両を破損するおそれがあります。
- 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう十分注意してください。

2. 格子部分の一部を切り取ります。



【スピーカーボックスとカバーの取り付け】

1. スピーカーボックスとスピーカーボックス取り付け部の周囲に、各クッションを貼り付けます。



2. 加工した格子部分にスピーカーボックスの配線を通し、スピーカーボックスをサイドパネルに設置します。



注意

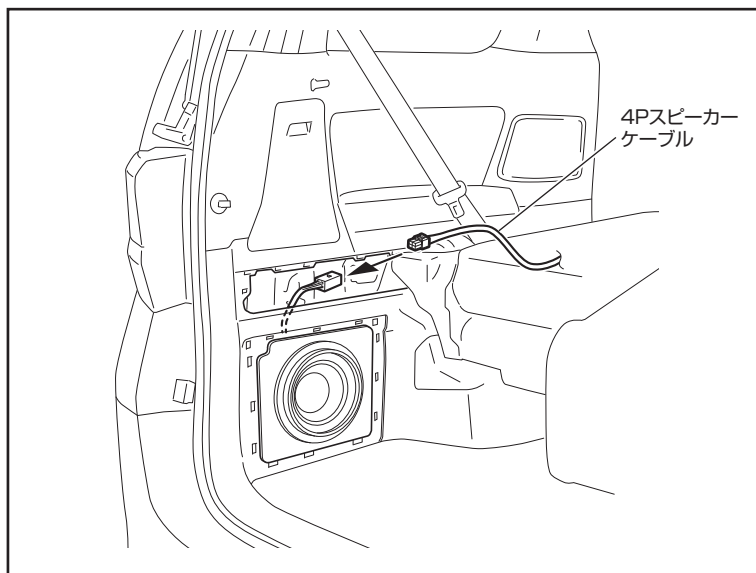
ケーブルを挟み込まないようにしてください。



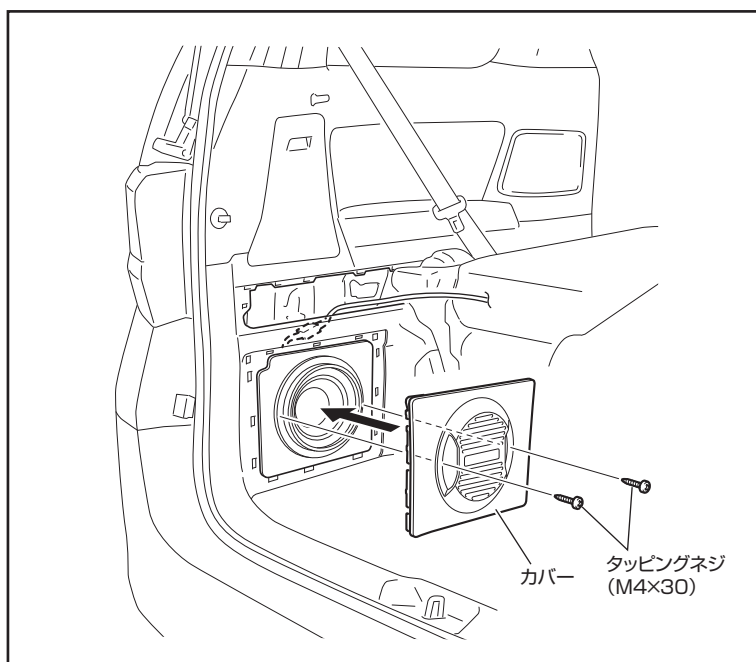
Memo

スピーカーボックス背面のスタッドボルトを加工した穴に通して取り付けてください。

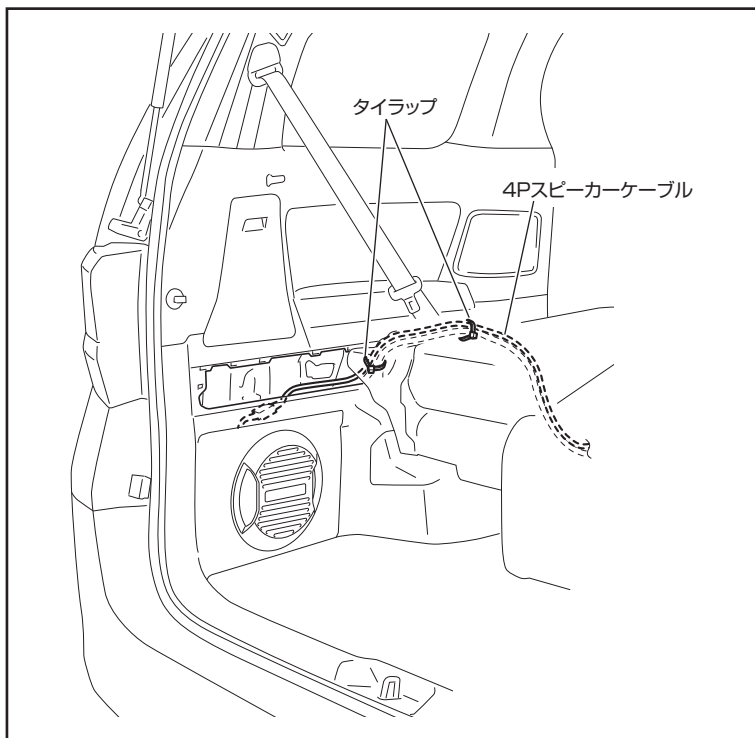
3. 背面からサイドパネルとスピーカーボックスを蝶ナットで固定します。



4. 4Pスピーカーケーブルとスピーカーボックスの配線を接続します。



5. カバーをサイドパネルに取り付け、タッピングネジで固定します。



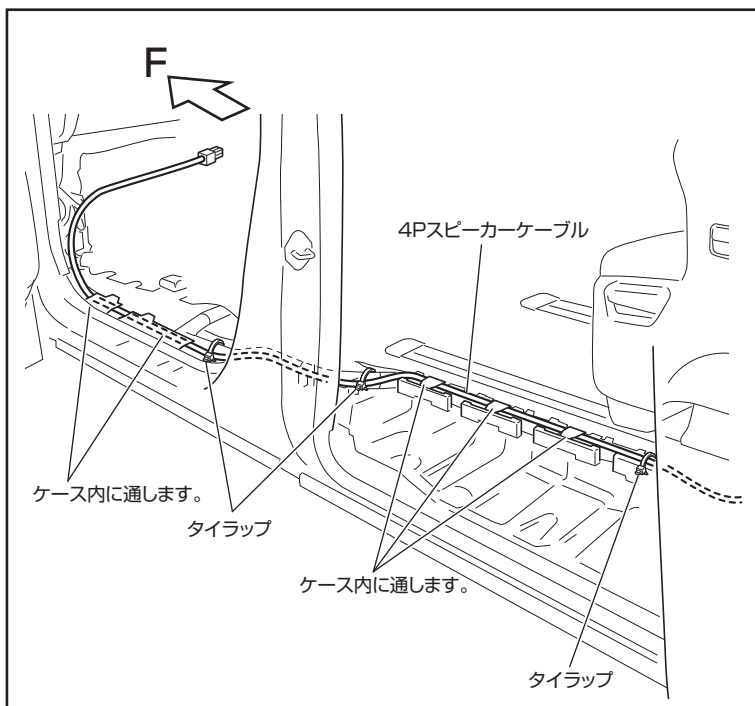
【4P スピーカーケーブルの配線】

1. サイドパネル裏側の車両ハーネスに沿って、4Pスピーカーケーブルを配線します。



注意

シートレールなどの可動部に干渉する位置へ配線しないでください。断線の原因になります。

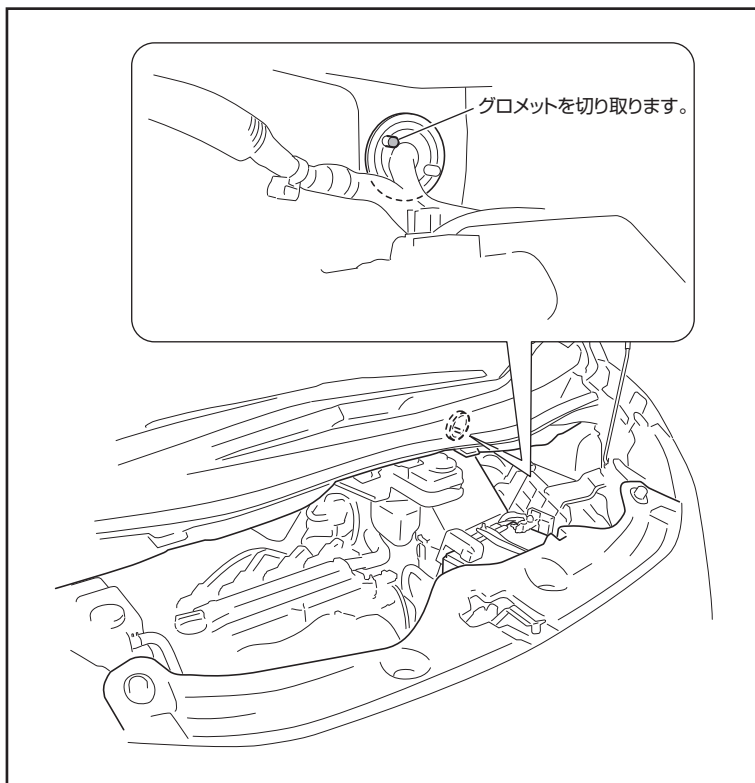


2. 車両ハーネスに沿わせながら室内左側を通し、センターコンソール裏まで配線します。



Memo

車両ハーネス固定部に近い位置でコードを固定してください。

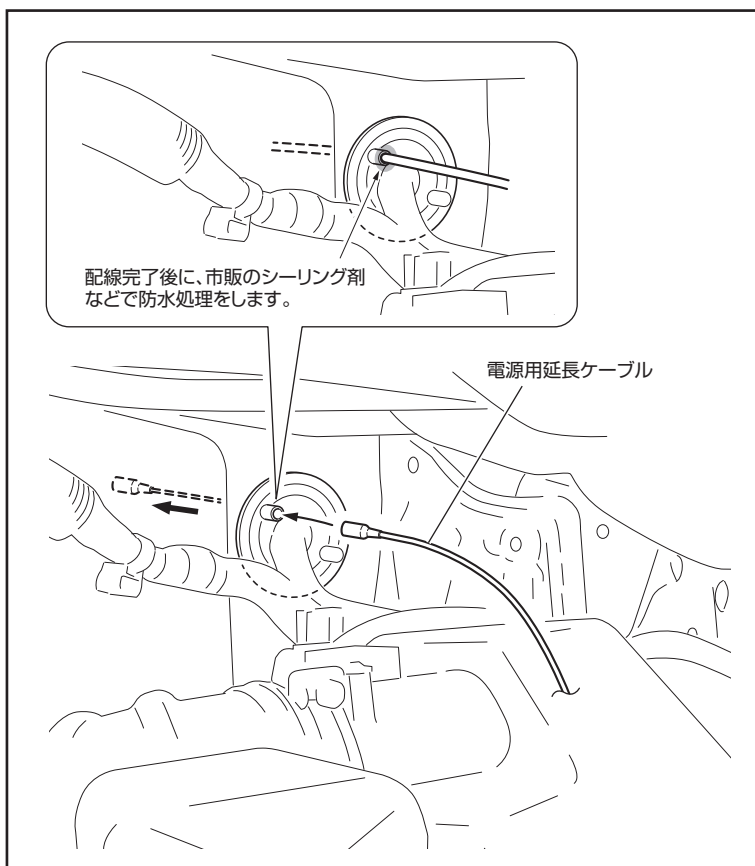


■電源用延長ケーブルの配線

1. エンジンルーム助手席側奥にあるグロメットをカッターなどで切り取ります。

⚠ 注意

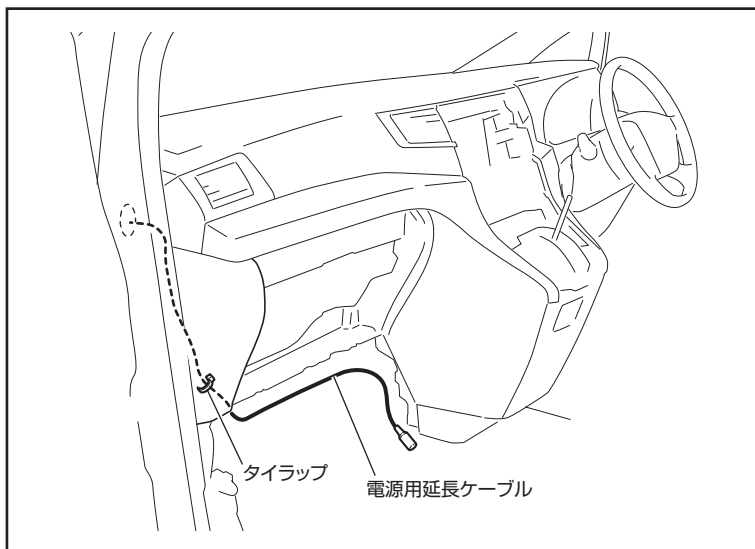
- エンジンルーム内が十分冷えていることを確認してから作業をおこなってください。
- 保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。



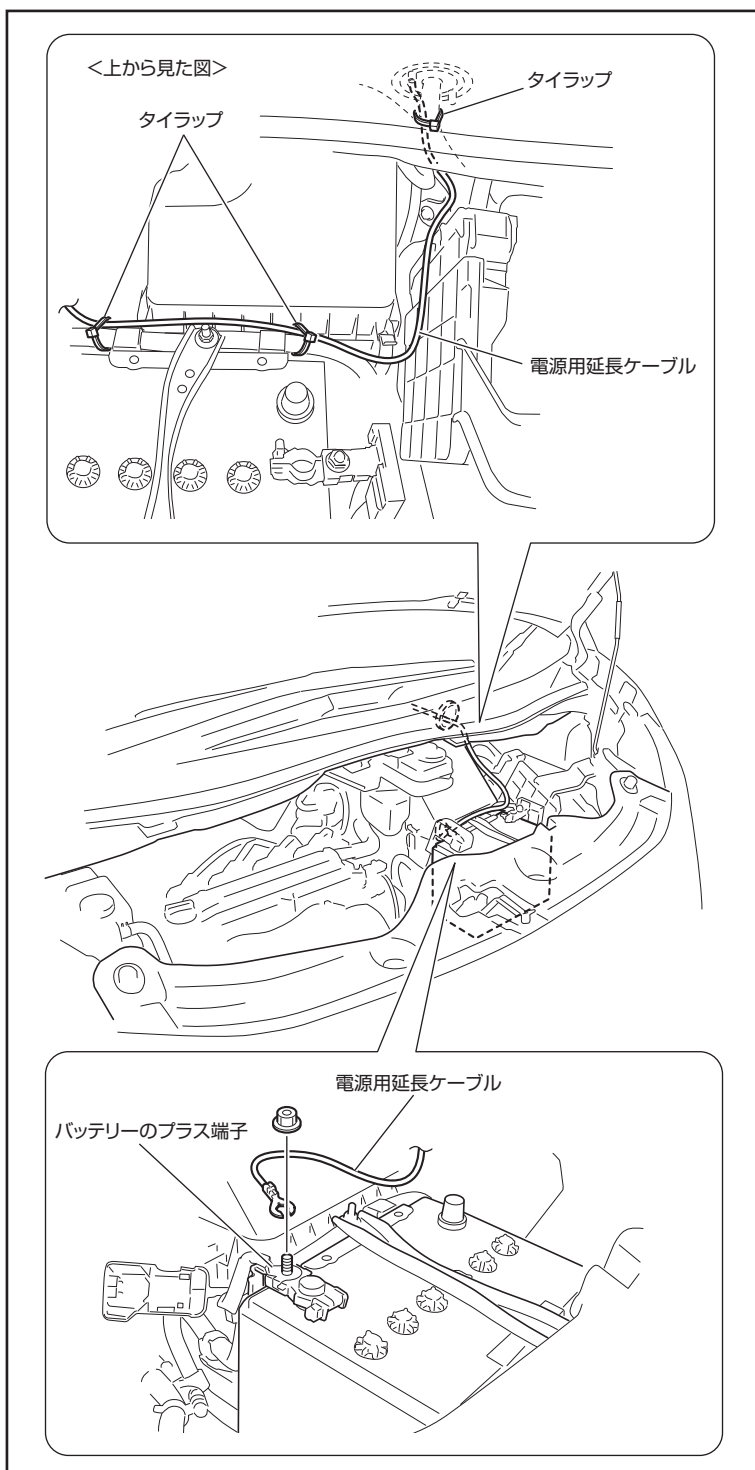
2. 切り取った部分から電源用延長ケーブルを車室内側へ引き込みます。

⚠ 注意

- 針金を使用して車室内側へ引き込む際は、グロメットが破損しないよう慎重に作業をおこなってください。



3. センターコンソール裏まで電源用延長ケーブルを配線します。

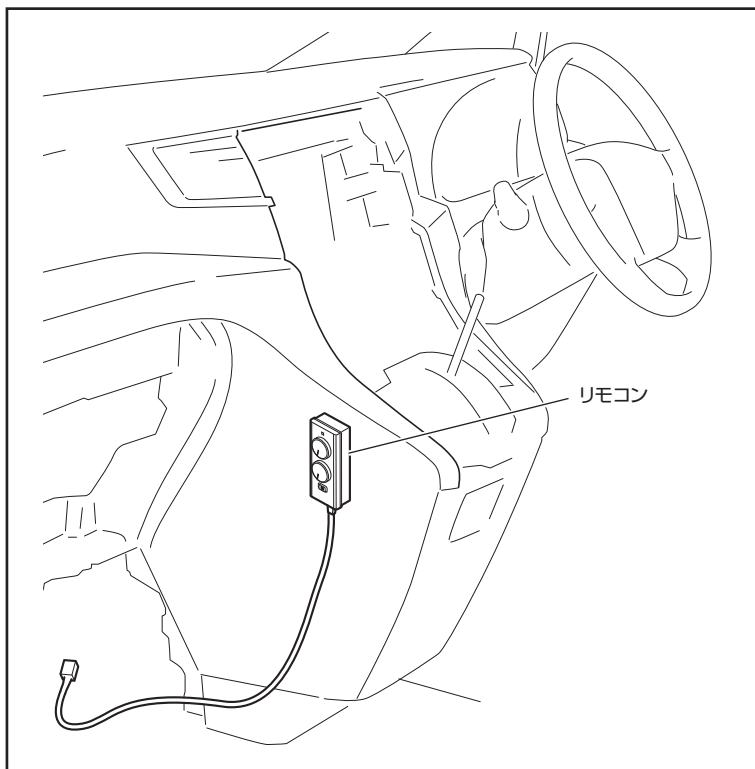


4. エンジンルーム内に電源用延長ケーブルを配線します。

⚠ 注意	●エンジンルーム内が十分冷えていることを確認してから作業をおこなってください。
	●電源用延長ケーブルが、ラジエターやエキゾーストマニホールドなど高温になる場所に接触しないよう必ず指定の位置に配線してください。

5. バッテリーのプラス端子に電源用延長ケーブルを接続します。

⚠ 注意	必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業をおこなってください。
-------------	--



■（参考）リモコンの取り付け

1. リモコンをセンターコンソール左側に取り付けます。
2. 配線をセンターコンソール裏まで配線します。



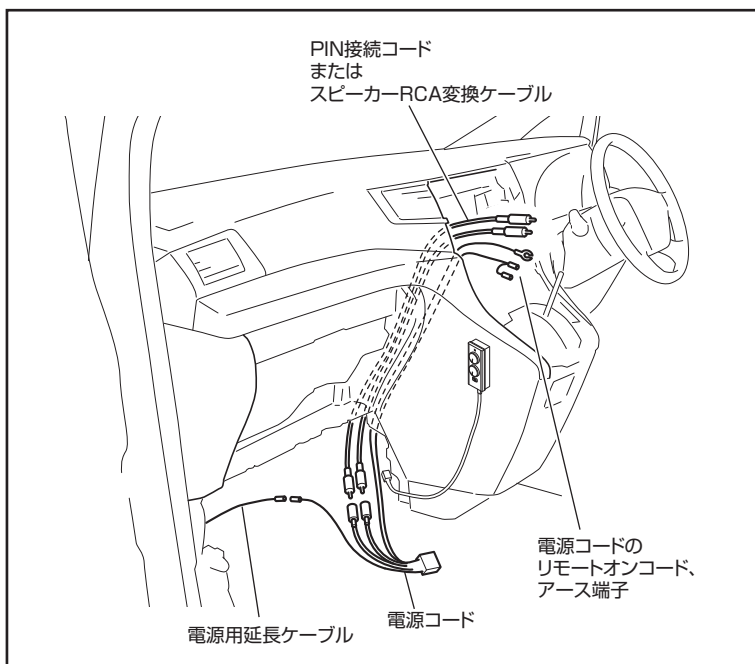
警告

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。



注意

グローブボックスの開閉に支障がある位置へ取り付けないでください。



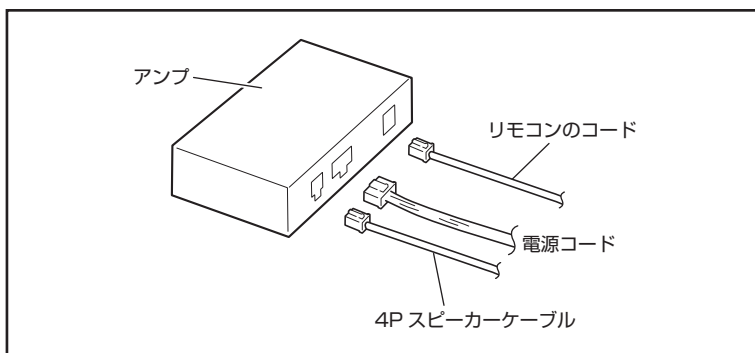
■アンプの設置

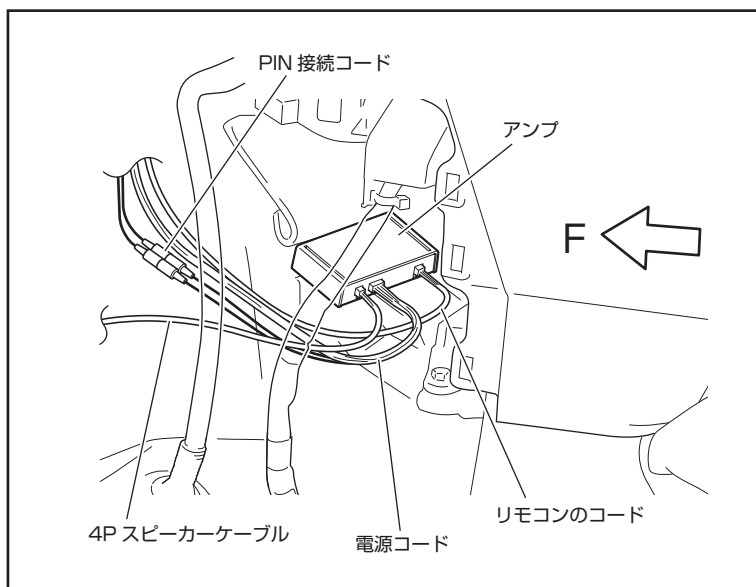
【電源コードとPIN 接続コード（スピーカー RCA 変換ケーブル）の配線】

1. 接続図を参照し、電源コードと電源用延長ケーブルを接続します。
2. 電源コードとPIN接続コード（スピーカーRCA変換ケーブル）を接続し、センターコンソール裏からオーディオ開口部まで車両ハーネスに沿って配線します。

【アンプ本体の設置】

1. 接続図を参照し、アンプに4Pスピーカーケーブル、電源コード、リモコンのコードを接続します。

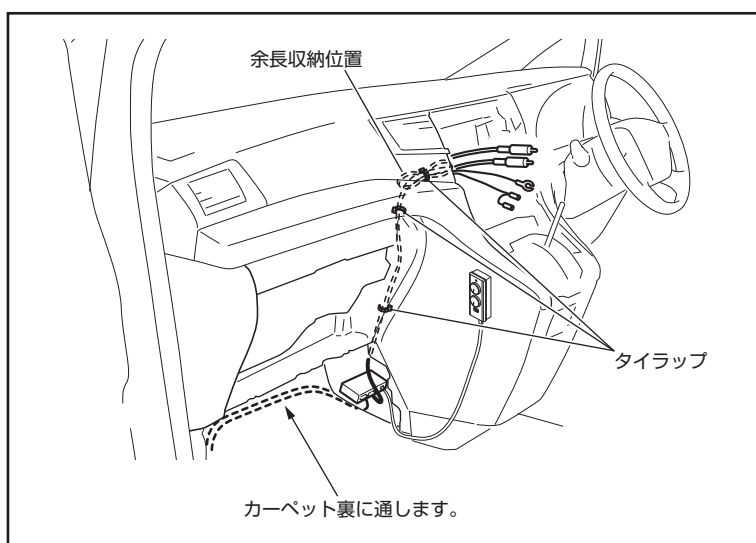




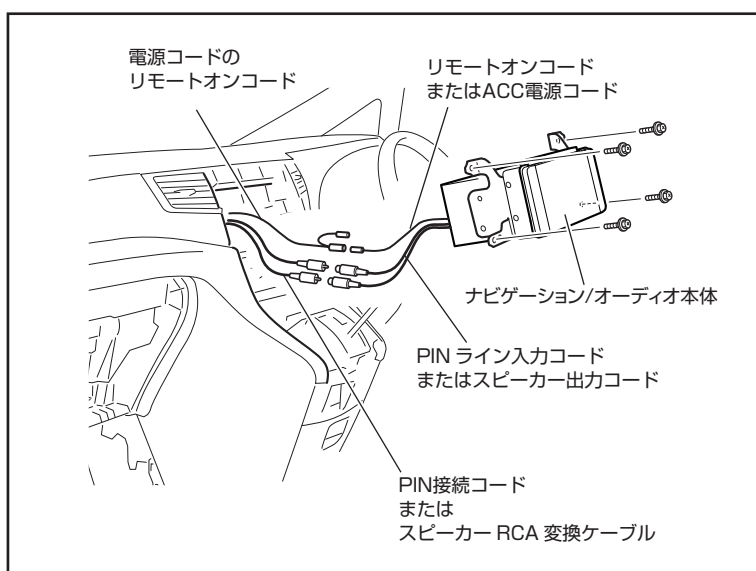
2. アンプをセンターコンソール裏のフロア面に設置します。



貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に
取り除いてから貼り付けてください。



3. 各コードを図の位置に固定し、余長を束ねて収納します。



■ナビゲーション/オーディオ本体の取り付け

1. 電源コードのアースコードを車両の金属部分に接続します。



注意 必ずテスターで導通の確認をしてください。

2. 接続図を参照して、各配線をナビゲーション/オーディオ本体に接続します。
3. ナビゲーション/オーディオ本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。



注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。
2. スピーカーボックスから音声が出ることを確認します。

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。

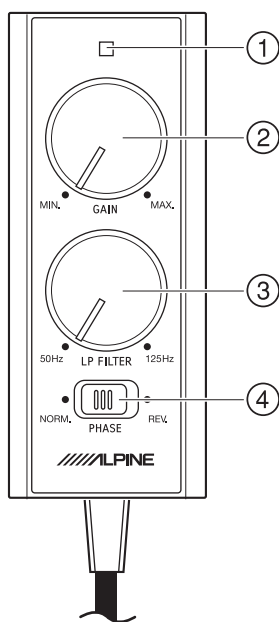


注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

●過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ベコベコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。（過大入力）スピーカーに過大入力が続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。過大入力にならない範囲でご使用ください。



- ① パワーインジケーター : 電源ONで点灯します。
- ② 入力感度調整ボリューム (GAIN) : 音の大きさを調整するノブです。MINにすることで小さくなります。
- ③ ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) : 音の再生帯域を調整するノブです。他のスピーカーとのバランスを調整することができます。
- ④ 位相切替スイッチ (PHASE) : 音の遅れを調整するノブです。他のスピーカーと音のタイミングを合わせることができます。正相 (0度、NORM.) と逆相 (180度、REV.) を切りかえられます。

●アルパインが推奨する調整方法

- 1 入力感度調整ボリューム (GAIN) をMIN、位相切替スイッチ (PHASE) をNORM.、ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) をセンターに設定してからシステムの電源をオンにする。
- 2 ヘッドユニットなどのTREBLE、BASSをセンターの状態にして、音量を普段聴いている大きさにする。
この時の音楽ソースとしては、普段聴いているものを使うと調整がやりやすいでしょう。
- 3 入力感度調整ボリューム (GAIN) をMINからゆっくり回し、システム全体でバランスがとれる位置まで入力感度調整ボリューム (GAIN) を調整する。
入力感度を上げすぎると音が歪むときがあります。
また、ヘッドユニットの音量が大きくても音が歪むことがあります。
他のスピーカーからも歪みが出ていないか確認しながら調整を行ってください。
スピーカーシステム全体が歪んでいるような場合は、ヘッドユニットの音量を小さくしてください。
- 4 ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントに調整する。
- 5 LP FILTERの設定が変化すると、音量も聴感上変化します。手順3、4を繰り返し行い、最良のポイントに調整する。
- 6 位相切替スイッチ (PHASE) で位相を調整する。
スピーカーの取付位置、車の形状によって位相の最良となるポイントは異なります。他のスピーカーと本機の音が最も大きくなる方を選んでください。
運転席に座った状態で、NORM. (正相) の位置とREV. (逆相) を切りかえてみて、良い方を選びます。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせを
おすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/ 島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/ 高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/ 宮崎県/沖縄県